

実践記録

学校/学年	小学校 / 5年	
教科等：単元名	総合的な学習の時間：「情報社会の倫理について」	
キーワード	情報モラル	
情報モラル指導モデルカリキュラム表における目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	a 3：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ
	中目標項目番号 中目標項目内容	a 3 - 1：他人や社会への影響を考えて行動する
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	「情報モラル」という言葉を知り、著作権の内容・安全なネットの使い方・情報の発信の責任について理解できる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶネットモラル
	製作者	広教（広島県教科用図書販売株式会社）
	入手先(URL等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1, 「情報モラル」という言葉を知る。 テレビ、ラジオ、パソコンなど。	・情報をどのように入手しているかを問う。 ・モラル（道徳・規律をが情報を得る側・発信する側が守っていく大切さに触れる。
展開	2, 「事例で学ぶネットモラル」より、子どもたちが身近に直面していることを取り上げて、その大切さを考え合う。 (著作権・安全なネットの使い方・情報の発信の責任)	・プロジェクターを使って見やすく提示する。 ・映像を途中で停止させて、「何が問題か。」を話し合わせる。 例：許可なく使うこと。大人と行う。困ったら相談すること。正確なことを発信すること。
おわり	3, 今日、学習してみて感じたり、考えたことを発表し合う。(学習カードに記入)	・今日の学習を通して、わかったこと、気づいたこと、考えたことを学習カードに書かせる。 「情報モラル」の重要性に気づけたか。

授業の成果

- ・子どもたちの感想：いくつか考えた大切なことをきちんと守っていききたい。困ったことが起こらないように、勝手なことはしないようにしたい。
- ・ふだん、学習の中ではなかなか触れられなかった「情報モラル」について、事例を通して視覚的に話題にできたことはよかったと思う。(注意の喚起にはなった。)これきりではなく、時々このようなことを子どもたちへ問い返していきたい。

指導のポイント・留意点

- ・「危険」「危ない」というだけでなく、正しく使う良さは忘れず押さえたい。